

平成 26 年度第 1 回 栄養学教育 F D / I C T 活用研究委員会 議事概要

- I. 日 時：平成 26 年 6 月 7 日（土） 16：30～18：30
- II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者：武藤委員長、中川委員、市丸委員、酒井委員、石崎委員、原島委員
（事務局）井端事務局長、森下

IV. 資料

- 資料① 平成 26 年度栄養学教育 F D / I C T 活用研究委員会の活動計画
- 資料② 対話集会に関する検討事項（メモ）
- 資料③ 対話集会実施に向けた検討事項について
- 資料④ 現在の授業で顕著な効果を上げている事例
- 参考 1 用語集
- 参考 2 アクティブラーニング事例集 1 長崎大学 大学教育機能開発センター
- 参考 3 国内大学におけるアクティブラーニングの組織的実践事例
- 参考 4 双方向型授業（新聞情報）
- 参考 5 学長アンケート 学び改革急ピッチ（新聞情報）
- 参考 6 大学 1 年生 難題で覚醒（新聞情報）
- その他 平成 26 年度委員名簿、公益社団法人私立大学情報教育協会平成 26 年度事業計画書

V. 議事内容

1. 平成 26 年度の委員会活動の進め方について（資料①）

平成 26 年度は、教育の質的転換に向けた教育改善を促進するため、I C T を活用した能動的学修（アクティブラーニング）への取り組み方策等についてテーマを設定し、研究を展開する。そのための対話集会を開催し、意見交流を通じて理解の促進を図る。

2. 対話集会に向けた今後の研究の進め方について

資料②対話集会に関する検討事項（メモ）により、1. 対話集会の目的確認、2. 対話集会のプログラムの策定（1）プログラムの内容（① 理解の共有、② 学士力を実現するための教育改善モデルの紹介、③ 様々なアクティブ・ラーニングの取り組みに関する話題提供、④ 意見交換、⑤ 課題の整理）、（2）時間配分、運営方法、開催場所、3. ネット配信と意見収集、4. 課題解決のための研究、5. 対話集会の参加対象についてについて意識合わせを行った。

資料③対話集会実施に向けた検討事項について検討した。

(1) 対話集会の開催内容について

栄養学教育におけるアクティブラーニング事例研究

(2) 開催時期（日程）について

平成 26 年 12 月 6 日（土） 14：00～16：00（予定）

(3) 開催場所について

家政大学（板橋）を候補とし、市丸委員からの回答待ちとする。

(4) 事例紹介の内容について（各事例 10 分程度）

私情協側からの話題提供として以下の 2 例（予定）が提案された。次回委員会にて開催要項を決定する。

- 女子栄養大学実践栄養学科における地域の健康課題抽出の対話型学修事例の提供（武藤委員長）
- 地域の特産物を取り入れた食育弁当を考案するフィールド型学修事例の提供（酒井委員）

参加者からの話題提供は、場所・開催時期が決定後に公募し、私情協が 2～3 例を採択する。話題は、アクティブラーニングに向けて工夫した点、主なアクティブラーニングの手法、課題・問題・今後の改善点、アクティブラーニングの充実に向けた提案など。

(5) 実施スケジュール

14：00～14：10 挨拶と趣旨説明（武藤委員長）

14：10～15：00 能動的学修（アクティブラーニング）の取り組み事例紹介

15：00～16：00 取り組み事例、授業改善モデル、さまざまな方策をもと教育改善に向けた意見交換

16：00 課題の整理と閉会

3. その他

栄養学の JMOOC 提供についてアンケートで 3 割以上の希望があったことが報告された。反転授業では、大学のファシリティを利用して有料で実施するが、サーティフィケートを出すことを前提とすると記述式回答の採点の負担が大きいことや、加盟の費用負担などの課題があることが説明された。6～8 月に各地で大学の MOOC 活用に関するワークショップが開催される。

4. 次回の委員会

日時：平成 26 年 8 月 30 日（土）14：00～16：00

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室